

## 第 20 回中国地方ダム等管理フォローアップ委員会

### 坂根堰定期報告書の総括

○第 20 回中国地方ダム等管理フォローアップ委員会において坂根堰定期報告書の審議を行った。

○審議は、洪水の安全な疎通、利水補給、堆砂、水質、生物、堰と地域との関わりについて、平成 19 年度から平成 23 年度までの期間を主な対象として分析・評価を行った。

○審議された各項目のうち、洪水の安全な疎通については概ね所期の機能を発揮しているが、今後も引き続き適切に管理・運用し、洪水の安全な疎通に努められたい。

○利水補給については概ね所期の機能を発揮しているが、今後も適切な管理・運用を行い、所用の利水補給を行われたい。

○堆砂については、やや貯水池が洗掘傾向にあるが大きな問題は生じていない。今後も引き続き調査を行われたい。また、苫田ダムを含めた吉井川としての土砂動態についても、引き続き測量、粒度等の調査を活用し、適切な堰の管理・運用に反映をされたい。

○水質については水質障害は発生しておらず大きな問題は生じていないが、吉井川としての水質状況についても注意を払い、今後も引き続き調査を行われたい。

○生物については現在のところ生息・生育状況に大きな変化は見られていないが、堰下流の状況にも留意して、今後も調査を継続し生物の生息・生育状況の把握に努められたい。また、環境保全対策の一つである魚道については、保全対策の効果向上の余地があることから、今後も調査・検討を進め、保全対策の向上に努められたい。

○堰と地域との関わりについては坂根堰が地域の市民にとって重要な社会的環境として位置づけられることから、堰と地域社会との関わりを整理し、今後とも地域における河川情報の発信基地として広報活動や地域との連携に取り組まれたい。

以上